



## 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月29日

上場会社名 株式会社 アトム  
 コード番号 7412 URL <http://www.atom-corp.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月15日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名  
 (氏名) 山角 豪  
 (氏名) 春名 秀樹  
 TEL 052-857-5225

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	24,428	35.9	1,280		1,177		1,257	
2020年3月期第3四半期	38,093	1.9	196	67.5	236	61.6	996	

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,251百万円 ( %) 2020年3月期第3四半期 978百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	7.11	
2020年3月期第3四半期	5.70	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	27,251	11,067	40.6	38.11
2020年3月期	26,306	12,756	48.5	47.19

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 11,067百万円 2020年3月期 12,756百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		2.00	2.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,300	35.0	1,480		1,385		2,240		12.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日(2021年1月29日)公表の「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	184,559,297 株	2020年3月期	184,559,297 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	472,165 株	2020年3月期	472,165 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	184,087,132 株	2020年3月期3Q	184,087,201 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、ソフトウェア関連が堅調なことに加え、主に中国での需要回復に牽引されて自動車の輸出が秋口以降大幅に伸び、さらに通信分野では5G関連が本格的に立ち上がるなど、多くの業種で改善傾向が顕著になりました。しかしながら個人消費につきましては、一時後退していた新型コロナウイルス感染症への警戒感が11月下旬になって再燃し、「Go To キャンペーン」の見直しや飲食店の一層の時短営業の要請、雇用環境の悪化による節約志向の高まりなどもあって、年末にかけて急激に停滞しました。

当グループにおきましては、回転寿司業態が持ち帰りや宅配需要を追い風に好調が続く、焼肉業態も店舗内の換気が良いことが評価された上に「Go To キャンペーン」の恩恵もあって、概ね堅調に推移いたしました。しかしながら、居酒屋業態やカラオケ業態などは新型コロナウイルス感染症の感染拡大による外出自粛や時短営業の影響を大きく受け、低迷が続きました。特に新型コロナウイルス禍の第3波が顕著化すると、酒類を提供する飲食店に対して営業時間を一層短縮する要請が東京都を皮切りに各地の自治体に出されたことに加え、年末の宴会需要が消滅したため居酒屋業態やカラオケ業態を中心に非常に厳しい状態で推移いたしました。

当社グループは、2020年4月以降、コスト構造の改革に着手し、費用対効果の精査に努めて損益分岐点の引き下げを鋭意図っております。すなわち、従業員の適正な配置転換による人材の活性化及び人件費の削減、オーナー様のご協力による賃料引き下げ等を行ってまいりました。これにより第2四半期以降については、営業利益の黒字化を果たしております。

また、10月から実施された「Go To キャンペーン」によって客単価の増加等を実現することができましたが、それとともに収益力の最大化を進めた結果、11月には既存店売上高が前年比103.2%となりました。しかしながら、12月に到来した新型コロナウイルス感染症の第3波によって緊急事態宣言が発令されるに至り、営業時間の短縮および外出自粛要請等によって景況が悪化しておりますが、引き続き当初計画にもとづくコスト構造の改善、固定費の削減による損益分岐点の引き下げに努めております。

このような状況の中、売上高は244億28百万円（前年同期比35.9%減）、営業損失が12億80百万円（前年同期営業利益1億96百万円）、経常損失が11億77百万円（前年同期経常利益2億36百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失が12億57百万円（前年同期9億96百万円）となりました。

当第3四半期連結累計期間において新規出店を1店舗、不採算店36店舗、賃貸契約終了により2店舗及びFC契約終了により2店舗を閉鎖したため、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は366店舗（直営店355店舗、FC店11店舗）となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

#### <レストラン事業>

レストラン事業につきましては、新規出店を1店舗（「ステーキ宮」）、不採算店18店舗（「ステーキ宮」8店舗、「徳兵衛」3店舗、「カルビ大将」2店舗、「かつ時」2店舗、「ラパウザ」1店舗）、及び賃貸契約終了により2店舗（「徳兵衛」1店舗、「カルビ大将」1店舗）の閉鎖を行い、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は244店舗となりました。

レストラン事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、198億37百万円（前年同期比24.4%減）となりました。

#### <居酒屋事業>

居酒屋事業につきましては、不採算店17店舗（「甘太郎」2店舗、「NIJYU-MARU」2店舗、「いろはにはへと」3店舗、「寧々家」5店舗、「暖や」5店舗）の閉鎖を行い、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は83店舗となりました。

居酒屋事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、31億28百万円（前年同期比66.6%減）となりました。

#### <カラオケ事業>

カラオケ事業につきましては、不採算店3店舗（「時遊館」3店舗）の閉鎖を行い、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は28店舗となりました。

カラオケ事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、7億79百万円（前年同期比57.7%減）となりました。

#### <その他の事業>

その他の事業につきましては、FC契約終了により2店舗（「徳兵衛」1店舗、「カルビ大将」1店舗）の閉鎖を行い、当第3四半期連結会計期間末の店舗数はFC店11店舗となりました。

その他の事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、7億26百万円（前年同期比12.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ9億44百万円増加し、272億51百万円となりました。その要因は現金及び預金、売掛金を主とした流動資産の増加20億64百万円、有形固定資産を主とした固定資産の減少11億19百万円によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ26億34百万円増加し、161億83百万円となりました。その要因は短期借入金を主とした流動負債の増加35億67百万円、長期借入金を主とした固定負債の減少9億33百万円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ16億89百万円減少し、110億67百万円となりました。その要因は親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び配当金の支払いによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は69億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億41百万円増加いたしました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は6億84百万円となりました。

これは主に売上債権の減少（6億87百万円）によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は1億56百万円となりました。

これは主に敷金及び保証金の回収による収入（5億21百万円）によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は18億68百万円となりました。

これは主に短期借入金の純増減額（37億円）、長期借入金の返済による支出（10億79百万円）によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年8月7日に発表いたしました「業績予想及び配当予想並びに特別損失の計上に関するお知らせ」から変更がございます。2021年1月29日付「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,642	6,983
売掛金	900	1,588
たな卸資産	336	395
その他	697	673
流動資産合計	7,576	9,640
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,007	6,375
土地	2,786	2,786
その他(純額)	1,384	1,192
有形固定資産合計	11,178	10,355
無形固定資産	86	83
投資その他の資産		
敷金及び保証金	5,155	4,513
その他	2,335	2,685
貸倒引当金	△26	△26
投資その他の資産合計	7,464	7,172
固定資産合計	18,730	17,610
資産合計	26,306	27,251
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,463	2,630
短期借入金	—	3,700
1年内返済予定の長期借入金	1,414	1,209
未払法人税等	11	119
賞与引当金	134	58
販売促進引当金	583	896
店舗閉鎖損失引当金	436	14
資産除去債務	420	93
その他	3,124	3,433
流動負債合計	8,588	12,156
固定負債		
長期借入金	2,559	1,834
資産除去債務	1,313	1,311
その他	1,087	882
固定負債合計	4,961	4,027
負債合計	13,549	16,183

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,073	100
資本剰余金	7,116	11,089
利益剰余金	1,764	69
自己株式	△191	△191
株主資本合計	12,763	11,068
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6	△0
その他の包括利益累計額合計	△6	△0
純資産合計	12,756	11,067
負債純資産合計	26,306	27,251

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	38,093	24,428
売上原価	12,813	8,410
売上総利益	25,279	16,018
販売費及び一般管理費	25,083	17,298
営業利益又は営業損失(△)	196	△1,280
営業外収益		
不動産賃貸料	105	91
助成金収入	-	82
その他	92	70
営業外収益合計	198	244
営業外費用		
支払利息	60	52
不動産賃貸原価	87	72
その他	9	16
営業外費用合計	157	141
経常利益又は経常損失(△)	236	△1,177
特別利益		
受取補償金	106	70
その他	8	0
特別利益合計	114	70
特別損失		
固定資産除却損	49	41
減損損失	607	95
臨時休業による損失	-	199
その他	53	38
特別損失合計	710	375
税金等調整前四半期純損失(△)	△359	△1,482
法人税、住民税及び事業税	458	129
法人税等調整額	178	△354
法人税等合計	637	△224
四半期純損失(△)	△996	△1,257
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△996	△1,257



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純損失(△)	△996	△1,257
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18	5
その他の包括利益合計	18	5
四半期包括利益	△978	△1,251
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△978	△1,251

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△359	△1,482
減価償却費	1,290	972
のれん償却額	89	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	96	△75
販売促進引当金の増減額 (△は減少)	294	313
支払利息	60	52
固定資産売却損益 (△は益)	△8	0
固定資産除却損	49	41
災害損失	7	0
減損損失	607	95
臨時休業等による損失	-	199
受取補償金	△106	△70
売上債権の増減額 (△は増加)	△295	△687
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△193	△59
仕入債務の増減額 (△は減少)	346	166
未払消費税等の増減額 (△は減少)	111	△164
その他	334	△225
小計	2,325	△923
利息及び配当金の受取額	5	3
利息の支払額	△60	△53
補償金の受取額	106	54
法人税等の支払額	△683	△21
法人税等の還付額	-	255
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,693	△684
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,020	△48
有形固定資産の売却による収入	75	0
敷金及び保証金の差入による支出	△175	△48
敷金及び保証金の回収による収入	310	521
その他	△58	△268
投資活動によるキャッシュ・フロー	△867	156
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,430	3,700
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△568	△464
長期借入れによる収入	-	150
長期借入金の返済による支出	△1,090	△1,079
配当金の支払額	△437	△437
その他	△0	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△666	1,868
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	159	1,341
現金及び現金同等物の期首残高	4,845	5,642
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,004	6,983

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。